

8・27 要望書を提出しました(2017年9月6日)

朝晩が涼しくなり、秋らしくなってきました。

8月27日(日)、福岡・警固公園で行われた集会は、夏の炎天下のなか、韓国からの参加者30人を含めた約2500人の市民が集まり、天神の繁華街を様々な色の旗と人で埋め尽くすものとなりました。

九電本店前までのデモ行進、その後の、九電本店前でのアピール。

休日とはいえ、福岡市民・九電社員の目に焼き付くものになったのではと推測しております。

今日は、集会后、事務局中心にまとめ送付を完了しました「**要望書**」について報告させていただきます。

末尾に添付していますように、日本政府・関係自治体の首長、さらに九州電力に対して、「**集会アピール**」とともに送付しました。是非、お読みください(順不同です)。

アベノミクスの成長戦略の柱の一つとして原発輸出を推進している内閣総理大臣・安倍晋三氏には、「未来のため地球のため総ての命のために、原発の稼働を止めてください」と求めました。

玄海原発のある佐賀県に隣接する自治体の長、福岡県知事・小川洋氏、福岡市長・高島宗一郎氏には、玄海原発の「再稼働について同意できないとの表明」を求めました。

福岡県内でも玄海原発「30km圏内」に含まれ、住民説明会も実施された糸島市長・月形祐二氏に対しては、「再稼働について反対表明」を求めました。

同じく「30km圏内」を含み多くの島嶼部のある長崎県知事・中村法道氏には、原爆被爆県の知事としての立場からも、「再稼働反対の表明」を要望しました。

長崎県内ですでに再稼働反対を表明している松浦市長・友広郁洋氏、平戸市長・黒田成彦氏、壱岐市長・白川博一氏には、市民の安全と安心のために職責を全うされていることに感謝するとともに、引き続き「再稼働反対を貫いてください！」と要望しました。

その他、佐賀県の県知事・全市町の首長に、佐賀県内の諸団体がそれぞれ要望書を作成し、送りました。

最後に、「見切り発車」の再稼働を強行に進めようとしている九州電力に対しては、厳重に抗議するとともに、再稼働中止を強く求めました。

すでに、先月22日、私たちは、九州電力に対して公開質問状を提出し、今月15日までの回答を求めています。諸指摘に対する誠実な回答を求めるとともに、再稼働中止だけでなく全基廃炉が社会的使命であることも指摘しています。

8月27日、夏の炎天下に警固公園に集まった市民の皆さん、その周囲で賛意・支持を表明してくださった多くの皆さんの「再稼働反対」への思いを、要望書提出という形で表明することができたのではと思っています。これからも、再稼働阻止へ向けて、邁進して参りましょう。

(集会事務局より)

(添付) [要望書一式](#)